発行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽 1-7-1
電話 東京(941) 2801
編集兼発行人 永田清成
定価 1部 35円

友愛文講準備進む

青年の使命を社会に訴える

本年度で四年目を迎える「友愛文化講演会」も事務打ち合せが進調に行なわれ、各開催地においては、その準備に追われている。七月に新潟県が発足し、内外ともに動きの激しくなっている今日、青年の使命の自覚が、今更ながらに強く叫ばれる時はない。この期に、友愛文化講演会を通じ、有為な青年に啓発を促すよう呼びかけをし、協力を仰ぐものである。

ゆれ動く国際社会の中にあって、いまこそ日本の進路を冷静に受け止め、新しい国作りに精力を投入しなければならない時代になっている。青年は社会生活の中になに捕らえるか。

まさいかに行動すべきか真けんに考えて行かなければならない。友愛文化講演会も、本年度で四年目、本会の社会教育活動では、他の青年団体に類をみない全国事業であり、過ごし三年間の実績は、青少年の意識高揚のため、多大の成果をあげてきており、中央と地方との文化交流がスムースに行なわねばならないと、感想を述べている。今までの友愛山荘の実績を基に一歩進んだ機想であるだけに、この北海道友愛山荘の建設は、運営における期待は大きい。

(二)

本会で推進してきた友愛山荘は故鳩山一郎先生の下で学習の場として設定され、一年中開設されている。

本会は、来年二十周年を迎へ、その盛り上げをする行事ともなっている。開催地においては、広報宣伝活動を充分行なわれることになっており、内容面での充実が計られている。

以下は、開催決定、予定地の日程および会場、講師名の一覧であることのことで、打ち合せも順調に進みあと、九州方面の事前打ち合せを残すのみになっている。

この事業実施にあたっては、本機関紙第三五号（八月号）に渡辺幸憲文化部長（常任幹事）の投稿で明らかにされているように、本年度の主テーマは、「豊かな日本を建設するために」とし、具体的には、身近な政治問題、経済、国際問題、一般社会における諸問題、文化を取りあげ、幅広い知識を与え、講師と青年との対話によって、現代に生きる青年の役割を自覚せしめ、真に日本の未来を築く若者をはぐくませることをめざしている。

本年は、既に東京大学名誉教授我妻栄先生より、基調論文をいただいており、他の先生も熱筆中とのことで、打ち合せも順調に進み、九月十九日（火）岡山市

会場　蓮昌寺
講師　京都産業大学助教授　花井　等

九月二十日（水）三島市

会場　三島市勤労青少年ホーム
講師　サンケイ新聞婦人部記者　田村　玲子

九月二十一日（木）豊橋市

会場　豊橋市民文化会館
講師　衆議院議員　上村千一郎

〃　福井　勇

〃　村田敬次郎

京都産業大学助教授　花井　等

九月二十二日（金）岐阜市

会場　岐阜県市町村会館
講師　軍事評論家　村上　薫

岐阜城館長　郷　浩

九月二十三日（土）上野市

会場　上野商工会議所
講師　ニュース・キャスター　山谷　親平

十月六日（金）

十月十二日（木）　釧路市
十月十三日（金）　函館市
十月十四日（土）　八戸市
十月十六日（月）　秋田市
十月十九日（木）　仙台市
十月十九日（金）　水戸市
十月二十六日（木）　銚子市
十月二十七日（金）　田辺市
十月二十八日（土）　高知市
十月二十九日（金）　広島市
十月二十九日（土）　熊本市
十月二十九日（金）　鹿児島市

十一月二十五日（土）　東京都（小松・武生は期日未定）

北海道友愛山荘棟上げを前に

主張

（一）

昨年春より軌道に乗り、本年六月五日に着工された北海道友愛山荘がいよいよ棟上げをおこなう運びになった。僻地にあり、本部と地元が種々な問題を乗り越え、工事は順調に進んでいる。最近は地元と本部との往来も多くなり、建ることを肌身に感じるようになってきている。

八月中旬、打合せを兼ねて渡道した田辺青年団事務局長は今までの、軽井沢、屈斜等の友愛山荘と比べるとずいぶん大きなものに感じる。われわれの足跡が確かに感じとれ、今後の山荘運営には十分な計画と地元の盛り上げと地元行政関係はじめ、政財界の応援を頂かねばならない。

（二）

本会は、地元が種々な問題を乗り越え、工事は順調に進んでいる。最近は地元と本部との往来も多くなり、建ることを肌身に感じるようになってきている。

八月中旬、打合せを兼ねて渡道した田辺青年団事務局長は今までの、軽井沢、屈斜等の友愛山荘と比べるとずいぶん大きなものに感じる。われわれの足跡が確かに感じとれ、今後の山荘運営には十分な計画と地元の盛り上げと地元行政関係はじめ、政財界の応援を頂かねばならない。

（三）

われわれはこうした一歩進んだ施設をわれわれの手で建設し・相談に応じるものである。

第二点の物的資源においては、研修施設は従来より収容人員が多いが、研修施設は以前に比べるべくもない程充実している。視聴覚にもあるように運営面であるが、道の学識経験者二十名からなる運営委員会と、行政、政財界との協力、地元小樽市および同志の協力により充実した運営が期待されよう。さらに、コース・ホステル方式から青年の家方式に切り替え、実績を充分積むことによって、東京の友愛会館建設へと歩一歩前進しよう。そのために、全組織を挙げて北海道友愛山荘築の礎石を一段と高めよう。

（一）

昨年春より軌道に乗り、本年六月五日に着工された北海道友愛山荘がいよいよ棟上げをおこなう運びになった。僻地にあり、本部と地元が種々な問題を乗り越え、工事は順調に進んでいる。最近は地元と本部との往来も多くなり、建ることを肌身に感じるようになってきている。

八月中旬、打合せを兼ねて渡道した田辺青年団事務局長は今までの、軽井沢、屈斜等の友愛山荘と比べるとずいぶん大きなものに感じる。われわれの足跡が確かに感じとれ、今後の山荘運営には十分な計画と地元の盛り上げと地元行政関係はじめ、政財界の応援を頂かねばならない。

（二）

本会で推進してきた友愛山荘は故鳩山一郎先生の下で学習の場として設定され、一年中開設されている。

本会は、来年二十周年を迎へ、その盛り上げをする行事ともなっている。開催地においては、広報宣伝活動を充分行なわれることになっており、内容面での充実が計られている。

以下は、開催決定、予定地の日程および会場、講師名の一覧である。

九月十九日（火）岡山市

会場　蓮昌寺
講師　京都産業大学助教授　花井　等

九月二十日（水）三島市

会場　三島市勤労青少年ホーム
講師　サンケイ新聞婦人部記者　田村　玲子

九月二十一日（木）豊橋市

会場　豊橋市民文化会館
講師　衆議院議員　上村千一郎

〃　福井　勇

〃　村田敬次郎

京都産業大学助教授　花井　等

九月二十二日（金）岐阜市

会場　岐阜県市町村会館
講師　軍事評論家　村上　薫

岐阜城館長　郷　浩

九月二十三日（土）上野市

会場　上野商工会議所
講師　ニュース・キャスター　山谷　親平

十月六日（金）

十月十二日（木）　釧路市
十月十三日（金）　函館市
十月十四日（土）　八戸市
十月十六日（月）　秋田市
十月十九日（木）　仙台市
十月十九日（金）　水戸市
十月二十六日（木）　銚子市
十月二十七日（金）　田辺市
十月二十八日（土）　高知市
十月二十九日（金）　広島市
十月二十九日（土）　熊本市
十月二十九日（金）　鹿児島市

十一月二十五日（土）　東京都（小松・武生は期日未定）

北進会議根室にて集会

去る八月十三日北進会議（穂積実行委員長）は根室にて北方の島を呼びかけそう国民の集いを開催した。

当日会場にあてられた地元根室の北方資料館には横田根室市長を始め本会の道議、日青協、農協、青年部、商工連合、地元の青年の参加のもとに実行委員長、横田市長のあいさつにはじまり、二人の意見発表（但谷丹島民、捕獲経験者）そして本会常幹・道議会主任谷さとる若の議長で決議の採択に入り、国民運動を展開していくことを満場一致で決め無事終了した。

その後、ノサップ岬をバスで見学、参加者は実際にみる北方の島を感慨深げに見祭していた。

第31全国幹事会

10月22日開催決定

さる八月二日（水）午後七時より、本部事務所において、田中赤一情報宣伝部長（幹事）の議長の下に、第四回常任幹事会および第二回執行部会議合同会議が開催された。

議題は、①友愛リーダース・キャンプ（第十九回中央指導者講習会）について、②友愛文化講演会について、③各担当役員組織派遣について、④友愛サマーキャンプ延期のとりくみについて、⑤第三十一回全国幹事会開催について、⑥各党会長クーデンホーフ・カレルギー伯歓迎会の取り扱いについて、⑦タイ留学生派行等、について、⑧第八次友愛東南アジア使節団について、⑨世界青少年交流協会受け入れオーストリア班本会受け入れ、について、⑩中青連主催「学制百年記念」あすをきずく青少年のつどいについて、⑪上海台風による風水害被災地救援募金等の活動について、⑫その他について、であった。

①については、五名の議長団として承し、②については、九月下旬開催の東京ブロックの施策確認と、情宣活動等の徹底を話し合った。③については、八月旬、下旬に派遣される北海道、東北組織巡回に、吉川学対部長、渡部組織部長の二名を派遣することが決定された。

④については、七月末定されていた友愛サマーキャンプが、台風の影響で実施不可能となり中止になったため、その代案を体育部の方で検討することが了承された。

⑤については、十月二十二日（日）東京で開催することに決定された。

⑥については、本会機関紙第三三五九号で知らせた通り、逝去についての取り扱いは、十一月十五日友愛の日まで、喪に服することと座談会等を開催しとした。

⑦については、七月末の休眠状態の、芽集することとした。

⑧については、八月十九日より交流協受け入れで来日し、本会としては八月十七日一日受けることとし夜、OIAB関係のみを招いて歓迎会をすることとした。

なお、他団体で受け入れているOIAB代表の人名については、その取り扱いを来日時、話し合って決めることとした。⑨については、学生部を中心にして動員対策を立てることとした。⑪については、関係組織を中心募金活動を行なうよう、機関紙、支部連絡で呼びかけることとした。

⑫については、備品購入については、ファックスの購入を了承し、会員証の発行、北進会議での根室集会、文化部の要望事項の議題が出され、熱心に討議され、全議題の審議を終えた。

友愛OB会のお知らせ

全国の友愛OBの皆さんは増々御活躍の事と推察申し上げます。

さて恒例のOB会を左記のように開催することになりました。

十一月の菊薫る頃、鳩山先生と全国の同志との懇談は意義ある一日となるでしょう。今回は、家族の皆さんも含めてにぎやかに催しますので各位とそって出席されます様御案内致します。

九月七日

記

一、期日　十一月三日（文化の日）正午
一、会場　東京音羽鳩山会長庭園
一、会費　一、〇〇〇円（家族分は一名につき五〇〇円づつ追加）

※詳細は手紙及び本紙10月号にて案内致します。

東京青友会壮行会

青友会（会長・深見吉之助氏）では、去る八月三十一日（木）午後六時～八時まで、虎ノ門共済会館において、第十四回敢府青年海外派遣東京関係団員の壮行会を行なった。

なお、本会関係者は地方より二名が代表者として決定しており、毎年三月から四月と分けて募集が行なわれ、九月から十月にかけ一ケ月の日程で世界の各地を旅行するものである。

なお、参加費は無料であり、青年運動の活動家が対象とされている。

北方領土研修会高知で開催

北方領土問題対策協議会（北対協）では去る八月四日、高知市で本会高知支部の後援を得て、全国民に北方領土問題に対する認識を高めるための夏期研修会を開催した。

鎌の高知文教会館には、本会高知支部の会員をはじめ多数の青年が参加し、熱心な講演、質疑応答を行なった。

講師として京都産業大学教授の小谷秀二郎氏が「北方領土問題について」と題し、諸外国の領土問題の実状等を加味した講演をされた。この主講演の外、カラー映画「北方領土二十五年の氷鎖」を鑑賞した。

直言

◆"日本列島改造論"がベストセラーを続けている。会社でも役所でもそして茶の間でもまさに列島改造論ブームである。田中新内閣に寄せる国民の期待感の現れであろう。◆明治維新来の百年間、工業化、都市化の政策が経済の高度成長を誘った反面、過疎、過密の弊害と自然破壊を招き国民生活に投げかけている大きな不安は内政の最大の課題である。改造論はこうした現実を捕えて「今、国民がなによりも求めているものは、過密と過疎の弊害の同時解消であり美しい住みよい国土で不安なく暮していける事」との観点からその方法として都市集中の弊流を転換して、民族の活力と日本経済のなくましい発展を日本列島の改造に向けて展開し、日本列島改造を断行しようとするものである。◆列島改造論ブームは、この様な大担な政策に対する国民の期待感である。しかしこうしたブームの反面、改造論は、インフレに拍車をかけるとかあるいは公害バラマキ論であるとかいうけるむきもあるし一方、改造による弊害を懸念する地域住民の反対運動も顕著化して来ることも予想される状勢である。かわれわれは、人口の都市集中の奔流の転換、公害の阻止を実現しようとする改造論の主眼には建設的・創造的態度で大いに賛意を表したいが一つ大きな疑問が残る◆改造論の理論は構造・エネルギー・情報の三つの角度から展開し、経済の成長と公害のない住みよい国土の建設を強調し経済の発展だけが豊な人間生活を確立することではない。戦後の急進的な経済発展をなした日本の現状は、豊な人心の頽廃、豊な文化の創造に直結したであろうか。画一的な情報・流行から特異なならしい文化が創造されるだろうか？文質主義が先行する社会・考え方の中から人間が人間らしく交われる社会が実現するであろうか？豊な自然は維持できるであろうか？◆列島改造論は、今われわれの最も求めたい、これらの問いに向らふれられていない。現在の文質主義社会を、われわれも為政者も真剣に考えるべき時である。（文生）

明日を築く知性と技術　鹿島出版会　東京都港区赤坂6-5-13

クーデンホーフ光子伝
木村毅著　一、〇〇〇円

一八歳でオーストリア貴族へ嫁した明治の女、光子は七人の子の母として三二歳で夫と死別。「ヨーロッパ共同体」の魂を育てたこの母と子の物語りは、すべての人びとを感動させるにちがいない。

友愛青年同志会会長・鳩山薫
人生に対する心構えや世界の政治、経済、文化の見方を養うために、若い青年男女に是非読んでいただきたい。
NHK会長・前田義徳
この全集出版の影響が、わが国有識者の国際政治感覚に大きな寄与をすることを確信している。

新たな構想のもとに、全思想体系を集大成した決定版
クーデンホーフ・カレルギー全集
全9巻完結！　A5判各一、〇〇〇円

1 クーデンホーフ＝人・思想・行動／パン・ヨーロッパ　鹿島守之助訳編
2 ヨーロッパ国民／ヨーロッパの統合／ヨーロッパにおける女性の使命・他　鹿島守之助・深津栄一訳
3 実践的理想主義／倫理と超倫理／人生の戒律　鹿島守之助訳
4 物質主義からの離脱／技術による革命　鹿島守之助訳
5 ヨーロッパの三つの魂／悲惨なきヨーロッパ／ゼントルマン　鹿島守之助訳
6 自由と人生／友愛の世界革命／戦争から平和へ　鳩山一郎・鹿島守之助・深津栄一訳
7 回想録　鹿島守之助訳
8 第一回鹿島平和賞受賞記録／美の国　鹿島平和研究所編・鹿島守之助訳
9 世界的勢力としてのヨーロッパ・他　鹿島守之助訳

学生活動の方針決る

第二回全国大会開催

去る八月二十八日より三十日（月・水）の三日間にわたって、軽井沢友愛荘において開催された。今回の大会では、学生会員としての今後の活動をいかにという実際行動の面で大きな一歩をしした。

去る八月二十八日より三泊三日の日程で第二回学生大会は、北海道、東京、広島、徳島等の学生会員を軽井沢友愛荘に集め開催された。

激動する社会における若者達の本来の姿を探究する等、学生組織の今後の方向について討議が行なわれた。

大会は狭原要二君（東京）の司会で進められ、宮本昌子東京学生部委員長の開会の辞で開会され、続いて内田博章大会実行委員長のあいさつ、前体育部長谷誠人君、吉川厳学生対策部長の祝辞があった。開会式終了後、長田正太郎幹事長の「若者とは」と題して、現代の青年のあり方、青年の傾向について、そして書物・対話によって自己を高める努力をすべきであるとの講演があった。

その後、一、ブロック別に学生組織の確立を図る、二、全国大会における学生ブロックの復活、三、定期講座開催、四、学習活動、五、全国学生大会についての五項目についての討論会に入った。皆熱心に討議し一日目を終えた。

大会二日目は本会帯任参与の鶴巻孟雄先生の講演で始まり本会における若者層＝学生会員の会創設以来の活動経過を述べられ、学生会員の奮起を促がされた。昼食後谷前体育部長のリードによる討論会、班別対抗によるソフトボール大会、丹羽地区対策部長による講演、懇親会と進み、二日目を終了した。大会の最終日は、初日班別討議の結果をテーマに和泉一朗君（徳島）の議長による全体討議に入った。

一、学生組織の輪を拡げる。具体的方法として定期講座を開催させる。

二、全国大会における学生ブロックの復活を要望する。

三、「自由と人生」を教材として理論学習に努める。

四、全国学生大会を今後続ける。

次回からは、各組織代表による準備委員会形式で準備を進め、開催地組織がリードをとる。また規約改正委員会を設置し、十一月三日～五日の間に委員会を開催する。

以上の事が決定された。引続き閉会式に移り、井内正明大会副実行委員長（徳島）の大会終了の挨拶、来賓挨拶の後、谷誠の音頭により万歳三唱が行なわれた。

決定事項の実行、学生組織の発展を誓い合い、第二回全国学生大会は終了した。

OJAB代表来日

一層の絆深まる

去る八月十五日（火）AF二七二便にて、世界青少年交流協会受け入れ"訪日オーストリア青年代表団"が来日した。又同機にて、WFP-JB受け入れのOJAB代表八名も来日した。

本会では、交流協受け入れの代表団に対し、八月十七日（木）、一日を友愛の受け入れとし、終日東京↓鎌倉↓箱根と本会会員と共にバスピクニックを行った。この代表の中には、OJAB副会長ラキ氏以下四名のOJABのメンバーが含まれており、ローマン団長以下二十五名の編成であった。

羽田出迎へには、長田幹事長以下多数の出迎へを受け、友愛受け入れ日の十七日後には、東京新宿市ケ谷会館において、一行の歓迎会を開催し、姉妹団体としての友好を深めた。その後、一行は、倉敷、亀岡、金沢（永田事務局長一部同行）、新潟と見学した。

別団体での受け入れのOJAB代表一行は、仙台、鎌倉、京都、奈良、日光と見学し、副会長シュミット氏を団長とし、本会が、毎年オーストリアスキー交歓団の受け入れの世話をしているマッキンガー氏が含まれていた。

そして、九月二日（金）夜には東京全国町村議員会館ホールにおいて、交流協受け入れのOJAB代表と共に"サヨナラパーティー"を開催し、一層の親善友好を深めた。日本最後の夜を本会会員と共に泊まって楽しみ、九月二日（土）夜、AF二七三便にて、本会会員多数の見送りを受け、元気に帰国した。

第十九リーキャン開催

運動の方向性示唆される

第十九回リーダースキャンプ（中央指導者養成会）は八月四日から六日までの三泊三日間、軽井沢鳥友ロッヂに全国の支部長クラスのリーダーが参加し、友愛の理論・活動の展開方法等について熱心に研修した。

内容は①実践報告（講師＝渡辺幸愛文化部長）②友愛の理論（講師＝深津栄一常任相談役）③指導者論（長田正太郎幹事長）④レクリエーション活動の応用（斉藤保夫レクリエーション協会指導部長）⑤グループワーク（渡部文雄組織部長）⑥組織拡大のための戦略と戦術（狭原恭二総計プロデューサー）⑦総計討議の六教課について研究討議を行なった。

全体を通して特に印象に残ったことは、深津常任相談役の「友愛の理論」の講義で"公害問題と友愛運動"について「大気、海水の汚染が自然の復元能力を越えるまでに著るしくなった今、今まで空気、水は無限であるという考え方を有限であるという基本的な考え方に改める時が来た。経済成長の副産物として現われて来たことが原因であり、今後、経済成長の制限＝即ち人間の欲望を制御するという必要性に迫られるのでは……。かけがえのない地球を守るために……。」と述べられた。物質主義が行なわれる現代と友愛の考え方が対照的な公害問題は、今後運動を進める一つの方向性を示唆された意味で有意義であった。

訪日カナダ班

学生部受け入れ

去る八月十三日（日）より、十七日（木）まで、東京学生部（委員長＝宮本昌子さん）では、交流協受け入れ、訪日カナダ青少年代表団の団員四名（男女各二名づつ）を受け入れた。

受け入れは、古沢、河合、黒田、村瀬の四宅の家で民泊をし、連日東京見学、ショッピング案内、ボーリング大会出場、葉山への海水浴、そして、鎌倉見学などともりだくさんのプログラムを組み、とくに夜は親善交歓のパーティーを連日開催し、日本と力ナダの相互理解につとめた。

彼らは、日本の風習にビックリした面があったが、日がすきまにしたがい、十分な理解をするようになり、最後は、みな意気投合しなんどもお礼をいっていた。

「最初の印象は、最後まで続く」ということばがあるが、九月一日（金）羽田での別れは、涙が出るほどであった。学生部として、ほとんどもこのような機会に積極的に取組むことをとし、ぶっに受け入れを終え、親善を果たした。

タイ留学生帰国

父親の急病のため

去る八月三十日（水）午後九時十五分羽田発タイ航空機にて、四月以来、本会で受け入れをしているタイ国女子留学生二名は、元気に帰国した。

これは、二名の内、バンコック市役所職業訓練課次長ボルンバンの父が、急病にて、危機が伝えられた為に、予定より一ケ月半短く切り上げての帰国であった。そして、もう一名のバンコック市役所ンピニー青少年センター指導員のジャルニー夫人も、持病のゼンソクの悪化があり、早期に帰国したものである。

双方共、無事を祈るものです。

ミュンヘンキャンプ

交流協訪独親善班

元気に出発す

去る八月十五日（火）夜羽田発JAL四三七便にて、ミュンヘン・オリンピック組織委員会主催、第二十回ミュンヘンオリンピックユースキャンプ日本青少年代表団一行は無事に出発した。

そして、世界五十八ケ国から集ったスポーツ愛好の青少年一共に親善交歓の日程が始まり、連日友好の絆を深めている。本会からは大谷益勝義（相生支部長）リーダー始め七名のメンバーが参加している。

また、八月十八日（金）夜羽田発JAL四三二便にて、交流協派遣訪独親善班も元気に出発し、本会からの二名の会員も元気に行動している。

本部には、各派遣者より、元気なあいさつが届いており、その様子が伺える。

オーストリアへ行こう!!

（スキー交歓団々員募集）

スキーの本場オーストリアへ第三回目の派遣をします。受け入れ先は、本会姉妹団体オーストリア勤労青年連盟で長年、親善交流協約している団体です。

本年度は、オーストリアの南部ドナウ川沿いの"ジュピタル"の国際スキー場"で、素晴らしいスケールの大きいスキー場です。

また、冬季オリンピックが開催されたインスブルグでもスキーを楽しむことができ、ウィーン、ジュネーブでも見学が楽しめ、現地青年による交歓会各種行事等のプログラムも組まれております。

◆訪問先◆　インスブルグ、ウィーン、ジュピタル・ウンデル・ドナウ、ザルツブルグ、ジュネーブ

◆日程◆　十七日間【昭和四十八年三月二日（金）～三月十九日（月）】

◆経費◆　二十七万五千円（十七日間の小遣、リフト、渡航手続代を除く、一切の経費を含む）

※ローンの手続をして頂ければ、分割で付けます。

◆締切り◆　十五名の募集ですが定員になり次第締切りますので早めに本部国際部（〒一一二文京区音羽一一七一一電話九四一一二八〇一番）に申し込んで下さい。

―〇―

ヨーロッパ自由旅行者募集　右のスキー交歓団の日程と同じで期間、ヨーロッパ滞在中、自由に個人で見学される方を募集しております。費用は十八万五千円（滞在費は別）で、十七日間"フリーツアー"を楽しんで頂きます。問合せ、申込みは、本部国際部まで。

激動する東南アジアを見よう

第八次友愛東南アジア使節団募集

激動の一九七〇年代はその名の通り、国際的に日本を取りまく諸情勢は日に日に変化しておりその中でも、東南アジアの動向はますます注目を集めている。本会はわが国有数の青年団体として内外の活動をすすめ、この一九二〇年代に青年の力を結集し、力強く活動を展開する方針です。本会の中でも東南アジア地域においては、過去七次に渡る使節団の派遣と留学生の受け入れ等によりその地位は磐石なものとなっています。

本年は第八次使節団を派遣し、青年の立場から親善友好関係を探め、将来「パンアジア」の建設を目指し、近年に「パンアジアン青年会議」の開催実現を具体的な目的とするものである。また、日本青年が東南アジアの現状を視察し、東南アジアにおける日本の果たすべき役割を肌で認識しようとするものです。全国の会員諸氏の参加を期待します。

【期日】昭和四十七年十月二十二日～十一月四日（十四日間）

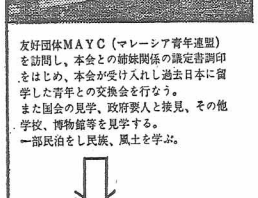
【経費】（参加費）一九八、〇〇〇円（旅券、予防注射代、小使以外の全経費を含む）※銀行ローンも可能

①頭金五万円の場合＝六九一二〇円＋（一五、八〇〇円×九回）

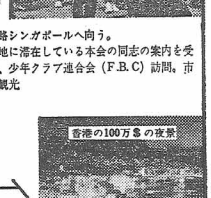
②頭金十万円の場合＝一一三、二三〇円＋（一〇、四〇〇円×九回）

（本会が国際活動を進めるための、例えば留学生の引き受け等の基金）

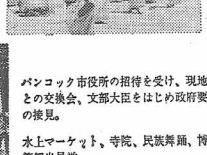
詳細については本部国際部宛に問い合せ下さい。


マレーシアの国会議事堂（クアラルンプール）

風俗豊かな南太平洋、バリ島でのんびりと民族舞踊（バリダンス）の鑑賞、島めぐり、海水浴が魅力。また豊富な果物を満喫できることも楽しみである。
現地では、真武信幸さん（前本会参与）の招待、案内を受ける。

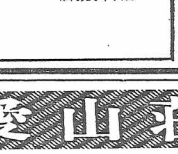

シンガポールの代表的な民族舞踊（ライオンダンス）

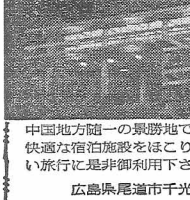
一路シンガポールへ向う。
現地に滞在している本会の同志の案内を受け、少年クラブ連合会（F.B.C）訪問。市内観光

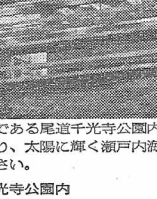


バリ島（インドネシア）の民族舞踊

友好団体MAYC（マレーシア青年連盟）を訪問し、本会との姉妹関係の調定書調印をはじめ、本会が受け入れし過去日本に留学した青年との交換会を行なう。
また国会の見学、政府要人と接見、その他学校、博物館等を見学する。
一部民泊をし民族、風土を学ぶ。


香港の100万ドルの夜景


タイ王宮エメラルド寺院（バンコック）


タイの民族舞踊

バンコック市役所の招待を受け、現地青年との交換会、文部大臣をはじめ政府要人との接見。
水上マーケット、寺院、民族舞踊、博物館等観光見学。
一部民泊し民族、風土を学ぶ。

市内見学、買物

尾道友愛山荘

中国地方随一の景勝地である尾道千光寺公園内に三階建の快適な宿泊施設をほこり、太陽に輝く瀬戸内海を望む楽しい旅行に是非御利用下さい。

広島県尾道市千光寺公園内
尾道友愛山荘　TEL 尾道（0848）（22）5554
所長　高橋　最宜

（ユースホステルの規則に従っています）
宿泊料金　1泊2食　会員 650円　一般850円

友愛山荘

軽井沢の夏は世界の避暑地としてまた冬のスケート王国としては勿論四季を通じての美しさは、若人の心をいやし明日への活動を約束いたします。

長野県北佐久間郡軽井沢町1608
軽井沢友愛山荘　TEL 軽井沢（02674）（2）2477
ペアレント　三浦　満

軽井沢友愛山荘

磐梯友愛山荘

朝日磐梯国立公園の恵まれた景観の中に建って、東洋一を目ざす猪苗代スキー場と清澄な猪苗代湖を望み春夏秋冬それぞれの美しさをほこっています。

福島県耶麻郡猪苗代町字葉山
磐梯友愛山荘　TEL 猪苗代（02426）（2）3424
ペアレント　卯月　研造

問合せ　財団法人　日本友愛青年協会
東京都文京区音羽1－7－1　TEL（03）（941）2801

健保問題を！

混迷する医療行政

友愛精神をもって解決を

常任参与
歯学博士　鶴巻克雄

今日、国内政治の中で最も難しいものは、健保行政である。日本も福祉国家として国として行く場合には、それを踏み越えて行かなければならない。今回は、その歴史と、一般社会の風会等で問題点になっているところを本会常任参与鶴巻克雄歯学博士に指摘して頂いた。（編集局）

今日の医療制度

米、国鉄、健保、はK、Kと並び称されて赤字財政の三大目頭ということになっている。

佐藤内閣最後の国会でも重要法案として健保法改正案が提案されたが遂に流産の憂目にあってしまった。流産に到るまで、連日のように法案の内容や与野党の接渉の経過が報じられたことは記憶に新しい。健保問題が国会で政治取引きの道具にされたのは何も今回が初めてではなく、大変な前科を背負っていることを思いおこしてみる必要があろう。

四十四年の国会では健保改正案をめぐって三泊四日の徹夜国会という異常事態をひきおこして時の石井衆院議長と小平副議長がその責任をとって辞任するという騒ぎもあったし、さらにさかのぼって四十二年夏の臨時国会では健保改正案の国会審議の混乱から野党の社会党、佐々木委員長、成田書記長が退陣するというハプニングさえあったくらいに健保法をめぐっての政治的トラブルは数えたくてもきりがないといってもいいすぎではない。まず健保を政治問題として見ないでも、日本人である以上、誰でもある種の健康保険に加入しているはずであり、昨年は医師会の保険医総退辞一カ月間も続いて大きな社会問題になったにもかかわらずマスコミを初め、国民の多くの人々がその問題の本質を把握せずに的外れの論議がされているのは健保の歴史やその仕組みが複雑で難解なせいなのだろうか。

いまの日本の医療保険は政府管掌健保、組合健保、共済組合、船員保険、日雇労働者健保、国民健康保険、などを主体として八つの法律のもとに各種制度と四千以上の保険者が乱立し、保険料の負担割合や、疾病に罹患した際の保険給付もてんでんにバラバラという何とも変てこりんな制度となっているのが実状である。

医療制度の歴史

ではなぜこんな勝手気まままともいえるような制度が乱立してしまったのであろう。

日本と諸外国の医療保険制度とではスタートの際の考え方に比較にならないほどの差があり、諸外国では人間尊重、社会福祉を第一義としてスタートしたのに対し、わが国の制度は、第一次世界大戦米騒動、経済恐慌、と相つぐ不安定な社会情勢下にあった大正年代に困窮して労働者による労使間の対立から激化した労働運動を軟化させたり、困窮した生活により多発する疾病に起因する労働生産性の低下を回復させること第一義として大正十五年に健康保険法が制定されて、昭和二年一月一日から施行されたことにはじまる。

健保法施行より現在までの間に組合健保、船員保険、国家公務員地方公務員、公、私立学校の共済組合などがそれぞれの立場で設立されて、大企業や公務員、教員などの被用者とその家族には医療保険制度が適用されてきたが、農業、自営業、自由業、無職、その他の者に対しては昭和三十六年に国民健康保険が発足して国民皆保険が達成されるまでの間、実に三十五年間も医療保険制度の外に放り出したままでおいた。

わが国の生活保護法による保護開始原因の六〇％以上が疾病に起因していることや、所得が少ないなど病気にかかる率が高く、収入の上昇に応じて疾病その率が低くなっていくことなどを考慮に入れるならば、諸外国と日本では医療保険制度というものに対する考え方と格段の差があったことが理解されよう。

労務政策的発想でスタートした健保制度も第二次世界大戦の敗戦を契機にしてそれまでの富国強兵から社会福祉、社会保障、という歴史的な大転換とともに医療保険制度の果すべき役割にも転換が要求されるに到ったが、発足以来、各種の制度をつぎはぎしながら発展してきたものを根本から作り直すということがされなかったために、経済成長、公害、老人問題などの社会環境の変化に対応することができなくなり矛盾が露呈してきて混乱が生じてくるのは当然の成り行きであった。

制度の現状

この混乱と矛盾を是正するには医療保険は抜本的改革をすべきであるとして政府、自民党、医師会健保組合連合会などの関係団体が十年来検討を重ねそれぞれの主張を発表してきたが現在になっても社会保障制度審議会、社会保障健康審議会などで全国民的合意の得られるような成案のメドさえ立っていないありさまである。

福祉国家と呼ばれる為には各種の社会保障が完備していなければならないが日本の社会保障は最大の柱は医療保険であるといわれている。しかしながら保険という経済的なテクニックを用いていては厳密には社会保障とはいえない。社会保障としての医療であるならば国は国民すべての国民に平等に医療が受けられるように保障をすべきであり保険としての医療であるならば、保険本来の意義から乖離して徹収された保険料の総枠のなかでしか給付（サービス）が受けられず、保険料の蓄積が減少してくれば給付（サービス）の低下が最終的はサービスの中止をしなければならなくなってくる。

医療は保険制度でいくべきか、保険制度でいくべきなのか、という重大な岐路に来ている。

現在の社会保障制度審議会や社会保険審議会は先日出された答申による保険指向型であって保障指向型ではなかった。しかし現在の医療保険制度は生命保険や交通災害保険などのように民間の営利会社のもっているような単純な保険ではなくなりつつある。また保険という形式だけでは医療保険は存続し得ない時代に来ているようである。だからといって現行の制度全体が絶対的なジンチに陥っているわけではなく各制度間、組合間で持てる者と持たざる者が、はっきりして持たざる者の経営が借金をしなければならなくなったというにすぎないのである。

運用の問題点

マスコミで健保問題が報じられるときの大半は保険医療費の改訂により健保の赤字がさらに増大するし、家計がどれくらい圧迫されるというものであって、あたかも医療保険全体が赤字になっているかのような錯覚を生ずるような報じられ方がされている。赤字になっているのは、弱者の集団である政府管掌健保、日雇労働者健保、国民健保、などであって他の組合健保や共済組合が赤字になっているわけでは決してない。

政府健保を例にとれば四十七年三月末には一千九百八十億円の累積赤字を計上しなければならない見込みだといわれるが一方大企業の被用者を対象として組合健保は四十七年三月末でさえ二千三億円の黒字でありそのうえ、保養所運動場、健保会館などの膨大な資産さえ、保有しているのである。

中小企業や零細企業の従業員で構成される政管健保や日雇健保が医療保険制度の改正や医療費の増額を押える努力をしたところで医療制度や保険制度以前の社会構造の歪をそのままにしていたのでは赤字になるのは無理からぬことであり、単純な保険では制度の運用に無理が生じてくるのは止むを得ないことなのである。

大企業では就職者に対して精密な健康診断を実施し健康者のみを入社させ、付属病院、保養所などの厚生施設も完備し、年に一～二回の健康診断をするほかにも給与水準も高いので衣食住の生活環境まで良くなり病気にかかる率も低くなってくる。さらに十五歳から六十歳位までの生産年令の者を対象としてあり、病気にかかりやすくなる高令者は、定年退職ということで冷酷にも切り捨ててしまう政官、日産、国保などに尻ぬぐいをさせている。

組合構成に問題

低年の賃上げにより保険料収入も増加するが、赤字の政管健保と同じ現物給付をしないのだから経営は楽なわけである。うらがえしに組合員からいせれば収めた保険料に見合う給付がされていないということにはならない。

健保組合関係者はいう「われわれは経営努力をして黒字にしている。政管は役人の放漫な行政のために赤字になる」と。

しかし、無能経営呼ばわりされている役人が数多く健保組合に天下りしているが、その組合は赤字にはならないのは経営努力よりも被保険者の所得や、年齢など、ほかの社会的要因によるものなのである。

いずれにしても標成要因の異なるものを同じ土俵の上で比較して、どちらが強いか、弱いかといってみたところで無意味なことで、政管健保や日雇健保は被保険者の所得を飛躍的に増加するか、給付内容を低下させるか、国庫負担を大幅に増加させるか、あるいは富める組合健保や共済組合からの資金的な援助がなければ保険という制度は存続できない。

抜本的な対策を

前国会で流産した健保法改正案も国庫負担を定率化することや給付内容の改善などの項目は比較的与野党の合意がなされやすい条項であったが、バラバラな制度のもとでのバラバラな負担割合や給付内容を将来は統一をすることを含みとして、抱出した保険料の％をプールすることにより、共済、健保から七百億円を政管に導入しようとする条項については経営者、も労働組合の代表も一斉に反発してしまった。

持てる者が持たざる者への援助を拒否してしまっては社会保障はおろか社会保険をも否定することになりはしないだろうか。

共済と健保で政管だというせまい仲間意識での利害関係でことを処理しては将来の社会の医療体系の方向を見失うことになりそうだ。

医療保険の抜本改革はとられながら十数年を経た今日も抜本的な改革は実施されず、財政政策に終始しているだけなの健保制度が国民にどのような医療をサービスするかということだけでなく、所得問題、住宅問題、労働問題、教育問題などがその裏面でからみあって医療保険を抜本改革することは社会改革を同時に、あるいは先行させなければならないからである。

社会改革はむずかしい、むずかしいといっていっても現状のように医療を受ける側と医療を供給する側の双方共大きな不満をもっているような制度は改革しなければならない。

願わくば改革に当っては相互理解、相互尊重、相互扶助という友愛精神を基盤とした改革であってほしい。

ロータリー

北の友から南の友から

◇活動に生かす努力を◇

リーダスキャンプに参加して私達武生支部から二名参加した。一つ一つの講習会に出て各支部の活発な事は想像どおりだった。チームワーク運営のやり方、その他関連する講義は武生支部には参考となった。話す事話す事が全部これからの武生支部に必要な事だった。小さくても内容のある支部に他の支部と肩をならべていける支部にもっていきたいと思う。

武生支部柏谷かよ子

◇理論の裏付けを◇

都会の雑踏を離れ、真青な空の下、空気も澄み、この自然条件のもとでの三日間の講義、内容等、私にとってはむづかしい事ばかりわからない言葉が次々にとび出て、自分自身の未熟さと、名前だけの支部長であるというような事を、痛烈に感じた。これを期に少しでも私たちの行動に理論のうらずけを考えて見たいと思っております。

東京茶道部田草川明美

◇喝を得た研修会◇

久しぶりに多くの学生たちのなかにはいった（いまは夏休み中）いつも無気力な（非常に恥しいことであるが）のなかにいるよりはずーっと今回集まった学生部の連中と生活したいものである。ある目的に発進している気迫というものがヒシヒシと感じられる。今回のテーマでもありましたが、これが「若さ」というものではなかろうか！

わずか二泊三日ではあったが全国の学生連中と寝食を共にしたことによって、少々年寄くさいことをいうが、さらに二十三歳ぞろえのような気がする。まだ二十一歳の私が「若さ」というものは精神的「若さ」に欠けていることなのであろうか！。とにかくこの大会においては大変よい勉強になったとともに自己北海道に学生組織を確立する意味においても来年度の大会はぜひ北海道で開催したいものである。

北海道学生部　松橋敏

◇私の成長◇

正直に言うと、軽井沢に来た目的は遊びの気持ちが半分ありました。けど、軽井沢友愛荘に着いてみんなの考え、仕事ぶりを見て、このような気持ちではいけないと気ずくとはずかしくなりました。私は、この三日間によって、少し大人になったように感じています。家の人、学友、クラブの士座が出来ました。またあの日まで！

徳島学生部尾崎成子

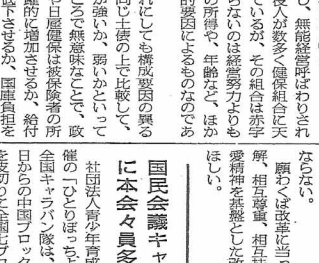
友愛新聞を購読しよう

友愛新聞は

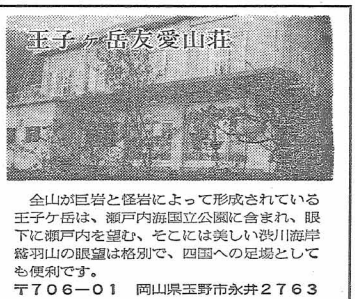
一北の友、南の友が語らう場。
一みんなが作り、みんなが主張する。
一正しい世界観を育み心豊な青年を創る。
一明るい日本、平和な世界を建設する。

友愛の使命

自由のための革命が立往生、平等のための革命が失敗した後を受けて、今や国民と国との間、階級と階級との間に橋梁を架し、もって彼らの全部に対して自由なる人間が四海同胞たることの福音を伝えるであろう。――故カレルギー名誉会長著「自由と人生」より



申込先　友愛編集局宛
会員以外の方でも年間４００円の購読料で新聞購読会員になれます。



全山が巨岩と怪岩によって形成されている王子ケ岳は、瀬戸内海国立公園に含まれ、眼下に瀬戸内を望む、そこには美しい渋川海岸絵羽山の眼望は格別で、四国への足場としても便利です。

〒706―01　岡山県玉野市永井２７６３
王子ケ岳友愛山荘
TEL玉野(0864)(77)８０７０
ペアレント　馨場正春

ワッペン運動を盛り上げよう！
北海道友愛山荘の実現も真近。本会では、昨年来よりワッペン運動を推進し、カンパサレタ方に下図の美しいワッペンを進呈しております。皆さんもどうぞ！

11月20日オープン　北海道友愛山荘予約受付中

春夏秋冬北海道の旅情を一層ふかめる小樽市朝里川温泉にあり、とくに夏のハイキング・秋は紅葉、冬は白樺林とスキーとそれぞれ山の趣がある。交通は小樽駅よりバスで３０分、札幌駅より４０分と便利です。施設は、視聴覚室、外国語研修室、図書室、体育館、野外施設（サイクリング、スキー、キャンプ）を完備しており、北海道への旅の拠点として、研修合宿として極めて便利です。１１月２０日よりオープンですが予約申込み受け承ります。

現　地　札幌市南１条西２丁目勧銀ビル内北海道友愛山荘
事務所あて　TEL011(261)9520―1
東　京　友愛本部あて

東京工芸社
優勝カップ・トロフィーバ・ッチ
メタル・旗・記念品
友愛の皆さんには格安に勉強致します
文京区小石川五―三―三
TEL(811)二五四一(代)

地方だより

ジャルニー夫人 ポルンパン嬢 各地巡回訪問

福島、秋田、上野受け入れ

本会の友愛スカラーシップで軽井沢友愛山荘で滞在中のタイ女子留学生（小諸市大学院在学）のジャルニー、ポルンパンさんの二人は、去る七月二十五日より、八月六日までの弱中休暇を利用して、福島、秋田、京都、三重を旅行した。各地の受け入れは、担当支部が熱心に接待した。

以下は、国内旅行の記録である。

福島県においては、七月二十五日（火）軽井沢友愛山荘三浦満管理主事の送りにより、磐梯友愛山荘を訪問、滞在友愛山荘で行ない、猪苗代支部（支部長＝菅野勝君）、福島支部（支部長＝松浦純夫君）の受入れを受けた。

福島県滞在中は、あの美しい裏磐梯、猪苗代湖周辺を観光し、各支部会員と懇談会を開催し、二十九日（土）には、支部名誉会員六角鑒三夫妻の〝歓迎〟と書の二人展〟を鑑賞し、各施設を見学した。

八月二日（水）には、野口記念館、白虎記念館等、会津若松市内を観光し、本会役員等関係の人々の接待を受けた。

また、一名が留学予定をしていた菊地トレスメー力ー学院を見学し、福島民友新聞の取材に応じ、翌日大きく報道された。そして、休養を取ったり、交歓会をしたりして、八月七日（月）、卯月研造磐梯友愛山荘管理主事の同行で、秋田入りをした。

秋田県では、丁度、お盆の時季で、その夜、秋田名物の〝竿灯〟を見学した。受け入れは、秋田支部（支部長＝佐藤治君）が全面的に行ない八日には、市内見学、男鹿寒風山にピクニックに行き、翌十五日、忍者の町で有名な伊賀上野市内を見学し、日本最新式の木造建造の伊賀上野城に登城し簡単な送別会を行って伊賀の里の訪問日程を終え、無事滞在地、軽井沢友愛山荘に戻った。

各訪問地では、いずれも、大歓迎を受け、地元マスコミ等にも大きく報じられ、彼女らの足跡は、支部会員らに強い印象を残こしたようである。

岐阜県　過去活動がスパ抜けてよかったところであるが、現在は停滞しており、先ず岐阜市を重点に県連の再建を目指し、懸命に活動を展開しようと努力している。

三重県　伊賀地方を中心に徐々ではあるが、刺激を求めて、行事を設定し、地道に活動を続けている。タイ女子留学生の受け入れを以下は、東海、北陸道、東北、中国、四国（前号掲載済）、北陸の報告である。

滋賀県　ここは、大津市を中心に、琵琶湖の南部に組織を延ばすべく拠点作りを行なっている。近い将来県連結成が行なわれる見通しである。

大阪府　リーダーの引継ぎがうまくゆかず、停滞気味であるが、会員募集に積極的に行動しており組織再建の見通しは明るい。

和歌山県　田辺支部が中心となって活動をしているが、地域評価は非常に高く、隣接地域への組織拡大が進められており、独自な姿で活動がすすめられているのは、とんこの組織のあり方として特異性がある。

静岡県　東部の地域が強く、地道に活動しているが、本年度中に県庁所在地に支部結成の運びとなるもようで、県連結成は真近である。

青森県　今回は、南部を中心に巡回したが、意欲的な活動家が、少しづつ育ち始め、津軽の方にもテコ入れをするよう動き始めている。将来が楽しみのところである。

上野支部は、

昌寺道
三島講演9／20（水）六時半　於勤労青少年ホーム
豊橋講演9／21（木）六時半於市民文化会館
鳴海講演9／22（金）六時半市町村会館
上野講演9／23（土）六時半商工会議所
釧路講演10／6（金）六時半
函館講演10／12（木）六時半
八戸講演10／13（金）六時半
秋田講演10／14（土）六時半、於産業会館
仙台講演10／16（月）

会員証の交付手続をしましょう

会員証の発行は、会員同志のつながりを強化するため、会を発展させるために長年の間、会員から強い要望が出されていましたが、第19回全国大会で7月より発行することに決定されました。次の要望で至急に手続をされ、会員証の交付を受けて下さい。

（1）会員は、全員会員証の交付を受ける。
（2）会員証の交付を受けた会員は、次のような特典を得る。
1．友愛山荘を200円の割引き料金で利用できる。
2．本部機関紙「友愛」の直接配布を受ける。
3．本部主催の各種行事（研修、海外研修その他）に参加できる。
4．各支部（地区）で規定する（喫茶店、ボーリング場などの割引利用）の特典を受ける。
（3）会員証交付手続
1．47年度の本部会費を納入する。
連合会傘下の支部（地区）
会員数×100円
連合会に所属していない支部（地区）
会員数×200円
2．機関紙「友愛」の購読料を納入する。
会員数×400円（12ケ月分）
3．支部（地区）に所属していない会員は600円（機関紙購読料400円、本部会費200円）を納入する。
5．会員証交付を受けるために必要なこと
・会員名簿（〒、住所を記載）を提出する
・顔写真（タテ3.6㌢㍍ヨコ2.4㌢㍍）1枚（支部に提出し、本部から送付される年度別のシールを貼付する）
・47年度本部会費、機関紙購読料を納入する。

品川支部ハイク

【品川発】品川支部（支部長＝岡本省三君）では、八月二十三日鎌倉ハイキングを行なった。

北鎌倉にある瑞鹿山円覚寺をかわきりに最後の鶴ケ岡八幡宮を目指して出発した。

当日は快晴で暑さもとしをであったが参加者十四名の足どりはリズミカルに動きだした。

都会育ちで、ビルの谷間に生活するわれわれにとって木々の緑、お寺の静けさ、せみのつくさい程のなき声は、都会のスモッグ、騒音、人並を忘れさせてくれた。

お寺からお寺へは、ほとんどが林道でつながり、歩きながら歌をうたい、すれちがう者達には「こんにちわ」と声をかけあいながら自然の美しさを堪能した。

鎌倉弁天で、お金を洗うと五倍になるとの事で、金銭行をためして洗い、最後の鶴ケ岡八幡宮では縁結びの神様に長谷「恋人」を願い、帰路についた。

東京駅の喫茶店で反省会と懇談会を行ない午後七時解散した。

賑やかに子供盆踊り大会

【登別発】登別支部（支部長＝高橋幸一君）では八月十九日滝の家前広場で恒例の第六回友愛子供盆おどり大会を開催した。

会員は地蔵祭り用の供夫を着て大勢の子供達に踊りの指導に専念また合い間に行なった花火大会には消防団長を招いて正しい花火遊びについての指導を願った。子供達は夏休み最後のレクリエーションを満喫した様子で帰り際の寒子の土産物を手にして大はしゃぎであった。支部でさこの事業を社会教育活動として今後も開催して行く。

品川支部のハイキング

愛知県連サマージャンボリー開催

去る七月二十九日～三十日に湯谷温泉で、愛知県連主催（実行委員長＝田中弘次東三河支部長）サマージャンボリが開催された。

各支部からの先発隊が設営したキャンプ村に午後五時集合、夜は、ゲームの楽しいキャンプファイヤーの一時。

二日目はラジオ体操で一日が始まり平餅の朝食を済ませた後、ハイキング・水泳・魚つりに興じた。最後のランチタイムはバーベキューと大変満悦な二日間だった。

最初の試みだったので万事に反省点があったが来年からは東海地方はもちろん全国の会にも呼び掛けて開催したい意向である。

全国組織巡回開始

各地の点検状況報告す

さる7月より八月にかけて、恒例の全国組織巡回に各担当者が派遣され、一部の各組織の点検を行なった。それによると、活発な地域停滞しているところ、様々ではあったが、大むね各支部は目標を定め活動しているようである。

残されたところも近い内に巡回されるようである。

中央日誌

8／2　第四回常任幹事会及び第二回執行部会議（後六時半　於本部事務所）
4　第十九回友愛リーダースキャンプ（後一時～6日　於軽井沢友愛山荘）
7　交流協会カナダ班出発
後七時半　於羽田）
13　カナダ会員歓迎入（東京学生部～17日）
北方領土返還促進会議主催
北方の島を呼びかえそう国民の集い（正午　於根室市北方資料館）
15　ミュンヘンオリンピックユース・キャンプ代表団出発（後十時　於羽田）
訪日オーストリー代表団来日（後六時半～17日）
18　交流協会ドイツ親善班出発（後九時半　於羽田）
28　第二回全国学生大会（後一時～30日　於軽井沢友愛山荘）
30　タイ国留学生帰国（後九時　於羽田）

告知板

★東京京都茶道部★老人を囲んでの茶会9／15（金）一時半　於文京区音羽出張所。なお茶道部では毎週火曜日夕方音羽出張所でお茶とお話しの例会を開いておりますので皆さんの参加を待っています。
★登別支部★登別温泉老人クラブ慰問9／18（月）十一時～一時
★友愛文化講演会★
岡山講演9／19（火）六時半　於

私達の一年間の活動

友愛秋田支部

私達秋田支部では来年の結成〇周年を前に、一連帯と行動一をあい言葉にして会員の一層の発展と住みよい秋田を創るために生懸命活動しております。四月の支部総会から現在までの活動を報告しますので皆さんのご意見をお寄せ下さい。

◇四七年度四月定期総会
〝連帯と行動〟を活動のテーマとして「社会に愛を開いた活動」を目標として、社会奉仕・一般青年との交流を重点として活動することを決定。
※定例会～毎月第一日曜日・第三火曜日
◎四十七年度活動の重点目標を

1、学習レクリエーション活動
2、社会奉仕活動
3、国際交流におく。

◇学習会
五月から「青年と社会参加」をテーマに、月一回。
◇秋田市勤労青少年ソフトボール大会（六月）に出場、友愛秋田チームが準優勝。
◇友愛〝勤労青少年太平山登山会〟（七月）
友愛のPRと二般青年との交流をねらいとして行なう。参加者二〇六人。
◇夏のチャリティ作戦（八月）
〝友愛すいか売り〟を産地の新鮮なすいかを仕入れ一般家庭（団地を主に）へ安価に販売。主婦の好評を得た。チラシ、宣伝カー友愛のPR。収益金二万二千円は、身体障害児のために〝あゆみの箱〟へ寄付。〝すいか売り〟で気を良くしたので、次回は〝山荘の資金を〟と目下作戦をねっているところ。
◇タイ国留学生受け入れ（八月）（四面トップ参照）
◇「秋田県青少年の船」団員として支部会員、原田博義、村上裕子、田口光子の三君を派遣
◇今後の主な予定
▽第四回文化講演会（十月十四日）
▽第三回友愛チャリティダンスパーティー（十一月二十二日）
▽第二回友愛ビッコレクリエーションのつどい
（福祉施設の子どもを招いてもちつき大会）　一月上旬
▽友愛スキーのつどい　一月下旬（一泊二日）
▽第二回友愛ヤングフェスティバル　三月下旬

太平山登山の秋田友愛

連絡先
佐藤栄治（支部長）
TEL二四一五三七七
佐藤明雄（委員長）
TEL四六一〇九八〇

亀有ゴールドレーン
36レーン
国電（常磐線）地下鉄（千代田線）亀有駅北口環7沿
株式会社 セントラル
代表取締役　五十嵐省吾

株式会社 中嶋組
営業品目
アスファルト系舗装工事
セメント系舗装工事
其の他各種舗装工事
舗装に付帯する各工事
取締役社長　中嶋信行
東京都世田谷区中町四一七一三
電話（七〇二）一一三一～四番

あなたの企業環境は快適ですか？
ビルの保守管理は？
警備は完全でしょうか？
ビルデイング綜合管理
保障警備
（公官庁指定）
株式会社 東洋実業
東洋警備保障株式会社
代表取締役　吉川栄二
本社　札幌市中央区南1条西2—6（勧銀ビル）
TEL 261—9520（代）
夜間専用 251—2217
営業所 事業所　岩見沢・苫小牧・室蘭・旭川・函館・小樽・岩内・留萌・帯広・滝川・深川・恵庭・松前・静内・江差

営業品目
機械関係　システム開発、各種制御部VTR、VCR、システム設計、製作
化成品関係　ビニール、ポリエチレン、プラスチック
紙業関係　製袋、製函、紙工品、包装紙、段ボール
リプロ関係　青写真、マイクロ、トレース
自動車関係　ホンダ
ニッセー株式会社
本社　東京都千代田区外神田4—5—4
TEL 03 253—7581（代）
営業所　練馬、神田、京橋、川崎、沼津